

西東京市 図書館だより

平成19年(2007年)1月16日

第24号

中央図書館

西東京市南町5-6-11
042-465-0823

下保谷図書館

西東京市下保谷4-3-18
042-421-3060

芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48
042-465-9825

谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2
042-421-4545

柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1
042-464-8240

ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1
042-424-0264

編集・発行:西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>



中原小3年 小林 花梨

図書館が収集し提供する情報は、主に文字情報それもほとんどは日本語の活字情報です。本や雑誌・新聞のほかネットワーク、CDや写真などの活字でない情報も含めると、形も内容の新鮮度もさまざまです。わたしたちは、それらの情報を取捨選択して必要なものだけを取り出して使います。ところが、これらの多種多様な情報を取り出せない人たちがいます。目や耳や体が不自由な人、日本語を読めない人などです。図書館の利用者サービスのひとつにハンディキャップ・サービスがあります。図書館を利用するのに何らかの「障害」がある人びとへのサービスを提供するという意味で「ハンディキャップ・サービス」ということばを使っています。利用する側にはなく、図書館側にある「障害」を取り除かなければなりません。

一つは、車イスで自由に動けるスペース、車イス優先利用者用検索機、大人も子どもも対応できるカウンターの高さ、拡大鏡の提供、車イス用トイレなど、だれもが利用しやすい環境を整えること。施設・設備のバリアフリー化です。

二つ目は、自宅へ本や雑誌を届ける、英語をはじめ外国語で書かれた本や雑誌・新聞・インターネット情報を提供するなど、利用する方の情報環境に合わせた支援です。とりわけ、視覚に障がいのある利用者には、さまざまなサービスを提供しています。広報紙や図書を音声テープに変換したり、個人を対象として図書の対面朗読をしたり、じっくり読書を楽しんでいただけるように、図書の点訳を行ったり、点字雑誌を届けています。いわば、活字情報のバリアフリー化です。

これから高齢社会が進むと、来館できない利用者が増えていくでしょう。加えて、情報社会の進展により、あふれる情報の中から必要な情報をなかなか探し出せない事態が生じることも予想されます。インターネット等を活用して自宅で情報を得られるようになる一方で、人の手から手へ直接手渡されることに意味がある情報も増えるのではないのでしょうか。図書館利用者層の変化に対応して、さまざまな情報支援が図書館に求められているのだと考えています。

★声の広報をお届けしています。

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎421-4545)へお問い合わせを